

# りんご生育情報(号外)

令和5年3月24日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



## 1. 気象の推移



2月末から3月にかけて、気温が平年より高い日が続いています(図1)。仙台地点のソメイヨシノの開花予想では、1週間から2週間程度早まると予想されており、りんごの開花も前進すると予想されます。

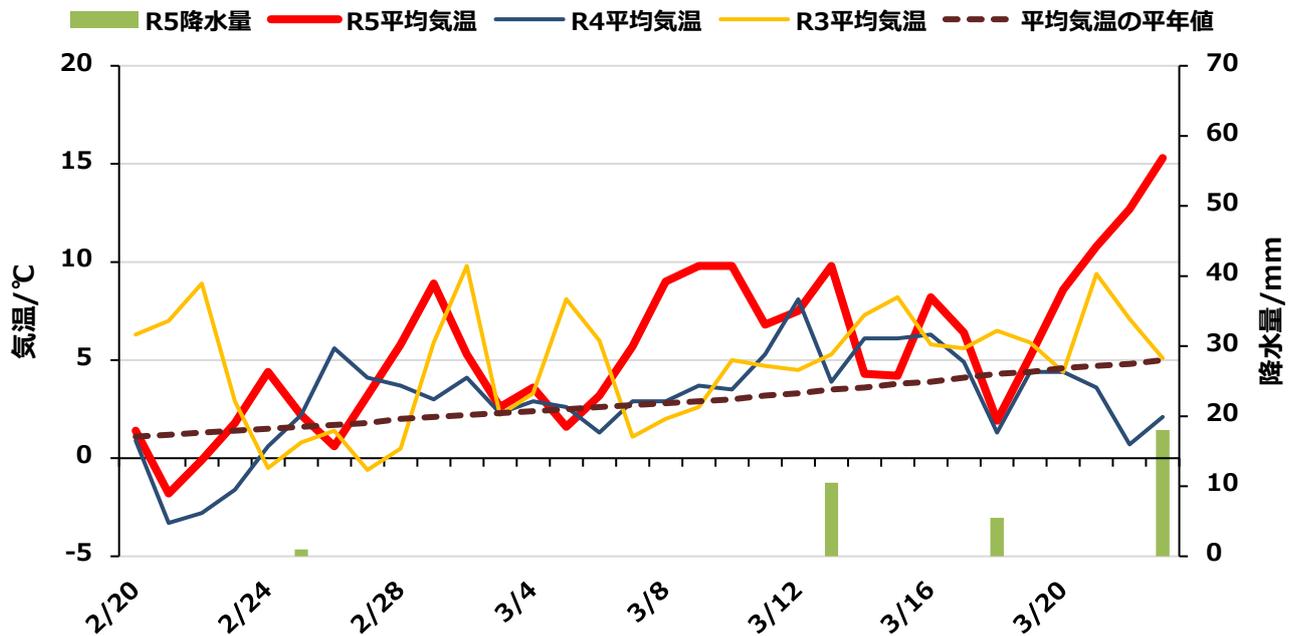


図1 2月20日から3月23日までの気象の推移(令和3年~5年)(アメダス地点:米山)

※3月23日に仙台管区気象台が発表した早期天候情報(東北地方)によると、3月29日頃から「かなりの高温」(5日間平均気温平年差+2.6°C以上)となる可能性があります。生育が早まる可能性がありますので、今後の気象状況を確認しながら薬剤散布、花粉の準備等を進めるようにしましょう。

## 2. 「ふじ」の生育状況

管内では、園地によって既に発芽期を迎えている園地があります。平年より1週間以上早い発芽状況ですので、凍霜害に備えた対策を取ることが必要です。

表1 令和3年、令和4年の生育期(調査地:東和町錦織)

	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	落花期
令和4年	4月3日	4月10日	4月26日	5月3日	5月8日
令和3年	3月27日	4月9日	4月23日	5月5日	5月9日
平年	4月3日	4月12日	5月1日	5月5日	5月11日



## 2. 凍霜害対策について



### (1) 危険予測

午後6時の気温が10℃以下で1時間に1℃以上の気温の低下がみられる晴天無風状態では、翌朝に降霜の危険性があります。低温注意報、霜注意報等の発令に十分注意するとともに、自らの果樹園の気温を測って対策を講じましょう。

### (2) 凍霜害の安全限界温度（福島県農業総合センター果樹研究所より）

表2 りんご（ふじ）の凍害を受ける安全限界温度※（℃）

発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
						
-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

※安全限界温度：植物体温度が当該温度以下に1時間おかれた場合に、被害がわずかでも発生するおそれがある温度。

### (3) 予防対策

- ① 敷きわらや雑草等は、日中の地温上昇を妨げ冷気を溜めてしまうので、敷きわらの除去や下草の草刈りを行いましょ。
- ② 冷気の流れがせき止められるような位置に防風ネット等の遮へい物があると果樹園内が低温になるので、障害となるものは巻き上げるか除去しましょ。
- ③ 晩霜対策には防霜ファン、防霜資材の散布、燃焼法（重油や固形燃料利用）、散水凍結法等があります。燃焼による対策を行うときは、事前に地域住民の理解等（消防署への連絡）を得ておくようにしましょ。

表3 防霜資材の商品例

商品名	散布時期	回数	倍数	10a散布量	備考
アイスバリア	霜、低温の直前 芽出し10日後から	2～3回	250～ 333倍	300L	・出芽10日以降から農薬混用可。
霜ガード	開花3～5週前から 開花期～幼果期	3～4回	50倍	200L	・「グットパートナー」1,000倍加用。 ・農薬混用可。 (マシン油、ハーベストオイル不可) ・午後3時まで散布する。
フロストバスター	低温予想の前日	—	500倍	250L	・夕方以降の散布は避ける。 ・農薬混用可。

### (4) 凍霜害被害にあった場合

- ・残った健全花に人工授粉を徹底して行い、結実確保に努めてください。授粉回数を多く、なおかつ花粉の希釈をしないで、「生づけ」することをおすすめします。
- ・特に被害を受けた果実はサビ果や奇形果になりやすいので、仕上げ摘果は障害状態が分かった後に行ってください。
- ・着果量が少なくなると樹勢が強くなるので、新梢管理を徹底してください。
- ・ほとんど着果がない場合でも、通常の防除は行ってください。
- ・果樹共済に加入されている方は、被害にあった旨を共済組合までご連絡ください。

